



発行者 神奈川県土地家屋調査士会 川崎支部長 渡部 清一

研修会を終えて



境界問題研究家
地域変容研究家

白井 隆 顕

このたび神奈川県土地家屋調査士会川崎支部の先生方にお話をさせて頂く機会を賜り厚く御礼申し上げます。この機会を頂いた発端は、数年前山田哲夫先生から、調査士会の研修で話をしてほしいとのことでした。が・・・在職中はご容赦願いたいと申し上げておりました。平成 28 年 1 月ごろでしたか？深瀬光正先生からも研修会のお話を頂きまして、退職後なら、ということで今日に至ったものです。何をお話してよいのやら？ 経験豊富な先生方にとすると・・・

深瀬先生との打ち合わせで参加される先生方を伺いますと、かつて仕事を共にした先生方が参加されるということで恥ずかしい思いと懐かしい思いで、複雑な気持ちでした。行政側からの経験をお話するしかないなど聞き直った次第です。

道路台帳をテーマにということで、土地家屋調査士の先生方と行政の最大の共通点は「境界調査」。

道水路台帳平面図を作成する時、土地境界査定の本拠は？土地区画創設のルーツは？ ということにさせて頂きました。

在職時、ある先生がおっしゃられたことが脳裏にあったからです。

『土地家屋調査士は、測量が本来なのに隣接土地所有者との面談に多くの時間を要する。現在は、隣接土地所有者に面談し署名捺印頂くことが主要な仕事になってしまいました。』と・・・ 実は、川崎の道路台帳平面図作成も同様で、測点を道路隣接土地所有者との立会合意を基本にしてきたからです。

川崎の道路台帳は、昭和 34 年 4 月川崎市道路台帳調製測量作業規程の承認を、建設省神書第 1 号により建設大臣から受け今日に至っていますが、多大な労力と経費を費やしています。その労力に、土地家屋調査士会の先生方の多くのご協力と支援もありました。わが国の主要な都市の道路台帳図を並べて観ますと等高線の入ったものや、地上法と航空法を駆使したものなどさまざまですが、川崎ほど現地に境界標を設置した上で道路台帳図を作成した大都市は私の知る限りありません。平成 16 年に行われた都市再生街区基本調査にあたり、国土地理院と国土庁国土調査課に道路台帳整備状況の報告をしたところ担当係長が道路台帳平面図を観て、境界標の設置率の高さに驚いておられました。これも土地境界査定業務にあたり、神奈川県土地家屋調査士会川崎支部の先生方に多大なご協力とご支援を頂いた成果と思っております。改めて感謝申し上げます。本日上田尚彦先生と、空家対策や狭隘道路の話をさせて頂きました。どちらも快適な都市生活を構築するためには、大変重要な問題です。神奈川県土地家屋調査士会川崎支部の先生方のご活躍によって、住みよい街づくりができることを大いに期待しております。ありがとうございました！



第 4 回 支 部 役 員 会

日 時 平成 27 年 12 月 16 日 (火)
午後 6 時 30 分～午後 9 時
場 所 川崎市総合自治会館
出席者 18 名

議 題

1. 区民祭実施報告の件

2. 出前授業実施報告の件
3. 七士業相談会・交流会実施報告の件
4. 支部新年会開催の件
5. 支部研修会開催の件
6. 支部業務変更の件
7. その他

第5回 支部役員会

日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木)
午後 6 時 30 分～9 時
場 所 ホテル K S P
出席者 19 名

議 題

1. 支部新年会の件
2. 支部研修会の件
3. 支部業務変更の件
4. その他

第6回 支部役員会

日 時 平成 28 年 3 月 29 日 (火)
午後 6 時 30 分～9 時
場 所 川崎市総合自治会館
出席者 20 名

議 題

1. 今年度事業報告の件
2. 次年度事業計画の件
3. 支部決算報告及び予算案の件
4. 支部総会の件
5. 区民祭の件
6. その他



麻生区民祭

長瀬 隼人

平成 27 年 10 月 11 日 (日) 10:00～16:00 麻生区民祭が開催されました。

今年度も支部会員 16 名の御協力をいただき、麻生区民祭へ参加いたしました。無料登記相談所を開設し、土地家屋調査士ロゴマーク入り風船の配布を行いました。

最後の区民祭参加となってしまい残念ではありますが、相談者の数も 2 名と振るわず、仕方のないことだったのかなと考えております。しかし、年に一度、大勢の子どもたちに「ありがとう」を言ってもらい、風船をもって喜んでる姿を見ることができただけでも長年リーダーをやった甲斐があったと思っています。最後に、麻生区民祭にご協力を頂きました皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



多摩区民祭



小曾根 浩之

平成 27 年度の多摩区民祭は 10 月 17 日土曜日、生田緑地にて開催されました。

搬入は、朝 7 時。

天気は雨で、少々気は減りましたが、のぼりや風船の充填機、展示用の境界標やパンフレット、配布用のティッシュなど準備し、その後は準備をした皆で向ヶ丘遊園の喫茶店でモーニングを食べ、お祭り用にビールやおつまみやを買い込みました。

10 時に区民祭がスタートしました。最初は閑散としていましたが、徐々にお客様も増え、天気も回復し、お祭りらしくなってきました。

昨年同様、無料相談所の開設、風船やティッシュの配布、境界標などの展示、土地家屋調査士業務の紹介のポスターなどを貼り広報に勤めました。

風船配りは盛況でしたが、相談に来た方は 2 名でした。越境問題 (30 代・女性)、境界標についての質問 (60 代・女性) などで、調査士の業務と関係ない件はそれぞれの分野へのご相談をおすすめしました。

ここ数年、相談者数 2～5 名程度です。市政だより、タウンニュース、パド等に区民祭で無料相談を行うことを載せるなど、事前の PR が必要と実感しています。それと同時に、具体的な業務の内容を知らしめることができれば、区民祭の参加が有意義なものになると考えます。

今後も地域の方々と積極的にふれあい、土地家屋調査士業務の周知に努めていきたいと思ひます。





幸区民祭

石川 賢明

平成 27 年 10 月 17 日幸区民祭に参加しました。

川崎区、幸区、中原区の会員 13 名にご協力を賜り例年と同様、風船、ポケットティッシュ配りと無料相談を行いました。相談に来られた方は 3 名で隣接土地との境界標が無く、越境されているのでは？との事でした。実際に測量して筆界を確定した場合にはどのような作業をして、どの位の費用が掛かるのか？など、これまでは建築に関する質問や特に私道のセットバックに関する内容が多い傾向でしたが本年は我々の実務に関する相談がありました。

懇親会は 23 日に幸区の『くりや』にて行い、11 名にご参加いただきました。食事はとても美味しく、お刺身はとても新鮮で大変評判が良かったように感じました。また、会話も盛り上がり充実した時間が過ごせました。

今回改めて感じた事は、区民祭の後の懇親会という事情から、参加された方は区民祭にも参加していただいた方が 9 割という状況でした。地域会員の交流という本来の主旨は達成されていないというのが率直な感想です。

北部七士業合同無料相談会

杉山 雄一

本年度も例年同様、平成 27 年 10 月 10 日（土）に七士業による合同無料相談会（北部）が JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路にて開催されました。土曜日で祝日という事もあり人通りも多く全体としては盛況となりました。私たち土地家屋調査士会は例年通りの相談件数でしたが、相談員の普段の業務と変わらない丁寧な対応に相談者の方々も満足して帰られたように感じました。中でも今回は越境に関する相談が半数を占めました。我々は通常売買や相続を機に仕事が発生することが多いと思いますが、普段の生活の中で境界を意識し越境物に頭を悩ませている方がいらっしゃることに気づきました。ただこのような案件は我々土地家屋調査士のみで解決することは難しく他士業の協力も必要でこのような相談会はそうした相談者の方々には有意義な場であったと思います。

また、11 月 25 日には反省兼親睦会が実施され、今回の反省点や次回への対策について活発な意見交換と共に他士業の方との交流を深め無事終了となりました。



南部七士業合同無料相談会

白石 雅晴

本年は平成 27 年 11 月 15 日、場所を例年のアゼリアから川崎ルフロン 1 階へと会場を変更し、相談員は私を含め 5 名での参加となりました。

毎年参加していてふと感じたことがあります。不動産に関する相談者は土地家屋調査士のブースを訪れるということです。不動産売買、借地権、はたまた不動産資産運用にまで相談が及ぶこともあります。こうした専門外の相談は、土地家屋調査士の認知度が低い事に起因しているのは言うまでもなく、その責任を専門外であるということでお断りすることはさらに無責任であると感じてしまいます。当然の事ながら専門外であるという前提の基、良いアドバイスがさらっと出来る土地家屋調査士はなんともカッコイイではありませんか。

近年、タレントやアイドルが報道番組に出演しコメントをしている光景を目にします。彼らは自分達のテリトリーを超えて活動をしており、そこに視聴者は多才な面に触れることでさらに好感が増えていくという構図が出来上がります。私たちもその手法が出来るのであれば真似を是非したいものです。カッコイイを目指して知識を広げることで、いつしかお客様の辛いところに手が届くサービスに変わっていき、それがリピーターに繋がっていく。なんともカッコイイではありませんか。



南部七士業秋の交流会

鈴木 宏治

平成27年10月26日(土)恒例の南部七士業交流会が税理士会幹事の元に開催されました。今回はいつもと趣向を変えて屋形船での宴会となりました。川崎駅日航ホテル前に17:00に集合し、マイクロバスで一同塩浜の船着場へ、17:30の出船でした。船からは川崎の工業地帯の美しい明かりや、みなとみらいの美しい夜景を目の前で鑑賞することが出来て、浮世を忘れて暫しロマンの世界を味わう事が出来ました。帰りはカラオケで盛り上がり、他士業の先生の芸達者ぶりを堪能する事が出来ました。次回は調査士会が幹事会となります。多数の参加をお待ちしております。



という繊細な年頃の子供達に対して真摯に向き合っている姿、フランクであり、かつ親切丁寧確実な指導をする姿には感動しました。実習の最後には生徒さんから「宜しければ一緒に集合写真を・・・」という申し出もあり、最後まで和やかで実のある素晴らしい体験をさせて頂きました。

こういった素晴らしい授業が出来れば、生徒さんの記憶の片隅に残っていくのかな？将来、「ほらっ、高校の時やったじゃん！土地家屋調査士とかいうオッサン達が来て・・・」などという会話が出てくれば、PR活動としては一先ず成功なのかな？と感じました。また、この出前授業は、ずっと継続していくべきものではないか？とも感じました。

最後になりましたが、お手伝いを頂きました会員の皆様におかれましては、お忙しい中、お時間をお造り頂きましたこと、素晴らしい指導をして頂きましたこと、御礼申し上げます。有り難うございました。



神奈川県立 向の岡工業高等学校 出前授業

山田 武宏

平成27年11月17日、毎年恒例となりました県立向の岡工業高等学校に於きまして二年生を対象に第6回出前授業を実施しました。

授業の内容としては、教室にて林健二会員による登記記録と附属図面についての講義と、グラウンドでの逆打ち実習を行いました。

林会員の講義では、居眠りをする生徒さんもなく、静かに、かつ真剣に受講する姿勢、実習に対する真剣な姿勢は素晴らしいものでした。同学年の子を持つ親としては「何故うちの息子は・・・？」と思うほどでした。作業の成果についても「巷の工事人がするものよりも上をいくのでは？」と思われるほど良好な結果がみられたことに驚きました。しかしながら、この成果の陰には会員の皆様の素晴らしい指導があつてのことなのだと感じました。16～17歳



神奈川県立 向の岡工業高等学校 出前授業～座学編～

山田 武宏

平成 28 年 2 月 9 日、向の岡工業高等学校に於いて、昨年の実習に続き座学による出前授業を実施しました。

午前中の 2 コマを使用しての講義です。前半を林健二会員によります測量のお話を絡めての建築設計の講義、後半は小西行長会員によります土地家屋調査士と測量の講義をして頂きました。生徒さんの大半が建築や建設の道に進むということで、前半の林会員の講義は興味深いお話だったようです。境界からの壁面後退、接道関係などの測量に関するお話、実際の建築の画像や設計図を使用して、先進的かつ実践的な内容でした。要所に「土地家屋調査士」という単語を織り交ぜながらの話術は素晴らしかったです。一方、生徒さんが飽きてしまうのではないかと心配していました後半の土地家屋調査士のお話ですが、さすが小西会員です。前半の建築のお話を絡めて、生徒さんを飽きさせることのないように講義をされていました。「林会員の見事なパスをしっかりと小西会員が確実に得点に繋げた」という感じでしょうか？登記記録、建物図面、地積測量図といった資料を用い、土地家屋調査士という資格または業務についての説明をされていました。また受験者数を増加させるべく、土地家屋調査士の魅力についても講義をされていました。



土地家屋調査士という資格を、直接アピール・説明できる場合は、そんなに多くはないでしょう。対象がこれから建設や建築の世界へ羽ばたこうとしている方々であれば尚更。続けられるものであれば、続けて行けたら・・・と思いました。

最後に、講義をして頂きました林健二会員、小西行長会員に貴重なお時間を割いて頂きましたこと、御礼申し上げます。有り難うございました。



新年賀詞交歓会

鈴木 宏治

日時 平成 28 年 1 月 20 日（水）18:30～
場所 向河原の「宝珍楼」
参加者 50 名

恒例の新年賀詞交換会を参加者 50 名という多数の会員の出席を頂き開催致しました。南寄りの向河原での開催という事もあり「南の將軍様」こと幻の調査士として名高い竹下先生をはじめ、多数の南の重鎮の先生の出席を頂き、小野田先生の乾杯の発声に始まり、林（收）先生の美声詩吟付きの中締めに至るまで楽しい会となりました。年男最年長者の四元先生、もう還暦だったのですね！ とても 60 歳には見えませんよ！ 実際の見た目は 59 歳くらいですかね・・・





の貴重なお話しを糧に今後も調査士として社会に貢献できるように日々研鑽していきたいと思っております。



支部研修会

太田 雅人

日 時	平成 28 年 3 月 16 日
場 所	エポック中原
参加者	支部会員 53 名
	補助者 6 名
	他支部会員 3 名
	合計 62 名

テーマが良かったのか今回の研修会も多数の参加を頂きました。研修内容につきましては二部制とし第一部には元川崎市建設局土木管理部管理課道路台帳係長の白井隆顕氏をお招きし川崎市全域の土地創設の沿革、道路台帳の沿革などから始まり長年の実務経験に基づいた実務レベルのノウハウなどを貴重な資料提供とともに大変興味深くためになるお話をいただきました。第二部につきましては本会広報部次長上田尚彦氏をお迎えし近年ニュース等でも話題になっております空家対策等について上田先生の軽妙なトークとともに土地家屋調査士としての社会貢献の仕方や業務としての展開、展望について深く考えさせていただけるお話をいただきました。両講師

同好会報告

ゴルフ同好会報告



四元忠幸

第 82 回川調春秋会ゴルフコンペ

日 時	平成 27 年 11 月 4 日 (水)
	9 時 52 分
	OUT、IN コーススタート
天 候	快晴
場 所	川崎国際生田緑地ゴルフ場
参加者	21 名

第 82 回春秋会ゴルフコンペは久しぶりの快晴、秋晴れのなか川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催されました。川崎国際生田緑地ゴルフ場での開催は 6 年ぶりとなりますがクラブハウスも新築され、身近なゴルフ場として人気のゴルフ場となっております。

今回は名誉会員丸川氏、宇賀神氏の参加を得 OUT、IN 3 組ずつに分かれてのプレーとなりました。



そして第 82 回川調春秋会ゴルフコンペの栄えある優勝者は私四元、準優勝は実力者村上会員、3 位は同好会旅行コンペで準優勝の箕輪会員となりました。ベストグロスは村上会員が獲得され、三浦正樹会員が DC、NP を獲得され力と技を披露された大会となりました。

スキー同好会報告

工藤 剛



日 時 平成 28 年 2 月 11 日 (木)
 ~ 2 月 14 日 (日) 2 泊 3 日
 場 所 赤倉温泉スキー場
 参加者 支部会員 11 名
 他支部会員 3 名
 その他 6 名
 合 計 20 名

毎年、いろいろな事がおこるスキー同好会ですが、今年も事件がおきました。

毎年、旅行会社を通して企画していますが、予約していたホテルが、スキーシーズンが始まる前に、前代未聞の倒産(破産)してしまい、シーズンが始まる直前、今から 2 月の飛び石連休、30 人の部屋の確保が出来るか心配でしたが、赤倉ホテルが確保出来、同好会活動が出来ました。

スキー場は、赤倉温泉スキー場と、赤倉観光スキー場とが隣接しており、共通券で双方のゲレンデを楽しめるスキー場で、暖冬で雪が少ないわりには、前半、雪質は良かったです。天気が良かった為、土日で参加してくださった方、雪質、ちょっと残念でしたね。日曜日の朝は、雨だったので、有志で群馬県の世界遺産、富岡製糸所を観光して帰ってきました。

赤倉ホテルは、温泉が 3 か所あり、到着するとお茶とおはぎが出てのおもてなしがあり、夕飯の懐石料理も量が多く、連泊でも料理に変化があり、日でも楽しめました。客室は、廊下を挟んで、寝室と居間? が分かれており、寝ている人がいても気にせず騒げる作りだったのも良かったです。

一番の印象は、朝食バイキングでのイナゴの甘露煮ですかね。美味しかった(笑)

急遽の宿の変更でしたが、今までの同好会で一番いい宿だったと同好会員にも言って頂けました。是非、機会があったら、行ってみてください。

初めて参加してくださった会員、久しぶりに参加してくれた会員、毎年参加して下さる会員ありがとうございます。土曜日の朝、車で 4 人の予定が 5 人乗っていると連絡が・・・急遽参加して下さっ

順位	名 前	H C	OUT	IN	グロス	NET
優勝	四元忠幸	7	39	41	80	73
2	村上義則	1	40	36	76	75
3	箕輪浩一	15	48	47	95	80
4	田代喜美子	21	51	51	102	81
5	太田康一	15	49	47	96	81
6	男全憲志	6	42	45	87	81
7	中村拓司	11	48	44	92	81
8	白石雅晴	36	56	62	118	82
9	有野拓美	8	42	49	91	83
10	小峰利平	20	53	52	105	85
11	引田 繁	10	47	48	95	85
12	朝比奈資明	25	53	57	110	85
13	大竹正晃	33	61	57	118	85
14	深瀬光正	20	59	46	105	85
15	宇賀神清人	27	59	54	113	86
16	丸川勝美	12	53	46	99	87
17	三浦正樹	14	50	53	103	89
18	桑原 泰	16	53	53	106	90
19	松澤博和	19	55	58	113	94
B B	大塚 康	28	65	57	122	94
B M	渡部清一	19	56	63	119	100

☆ベストグロス賞 村上義則

☆ニアピン賞 男全憲志・村上義則
三浦正樹

☆ドラコン賞 中村拓司・箕輪浩一
引田 繁・三浦正樹

た会員もありがとうございました。参加して下さる気持ちが嬉しくフロントに走りました。出来れば、来年からは、事前に参加申し込みでお願いいたします（笑）1人部屋が空いていて良かったです（笑）来年は、どんなハプニングが起こるのでしょうか（笑）会員の皆様の御参加をお待ちしております。目標40人。



会員消息

支部会員
のうごき



- 事務所所在地変更 平成27年10月23日
小泉 和俊 会員（2班）
多摩区宿河原三丁目14番5号
 橋首都圏測量企画内
- 事務所所在地変更 平成27年12月21日
中村 拓司 会員（5班）
幸区南加瀬三丁目31番6号
- 退 会 平成27年12月23日
市川 勲さん
- 入 会 平成28年1月20日
近藤 和吉 会員（1班）
幸区古市場一丁目15番地11
電 話 271-8841
FAX 271-6881



平成28年1月付で登録致しました近藤和吉と申します。川崎支部の堤事務所にて15年ほど補助者として調査士業を経験させていただき、宿願の土地家屋調査士になることができました。

これからは今まで以上に研鑽を積み、責任ある言動をとることを念頭に、資格者としての品位、矜持を持って業務に励みたいと思います。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

- 入 会 平成28年2月12日
白井 伶衣 会員（7班）
多摩区栗谷四丁目6番20号
 ー105
電 話 873-7343
FAX 873-7366



この度、平成28年2月より川崎支部に入会させていただきました白井伶衣と申します。まだ実務経験が少ないため、わからないことだらけではありますが、日々努力を怠らず、土地家屋調査士として恥じることはないよう業務を行っていきたいと思います。何卒、諸先輩方のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆ 訃 報

阿部光男会員のご母様が平成27年10月23日にご逝去されました。誠に哀悼にたえません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

◆ 訃 報

熊山武司会員が平成27年11月18日にご逝去されました。誠に哀悼にたえません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

◆ 訃 報

田中成佳会員のご母様が平成28年2月19日にご逝去されました。誠に哀悼にたえません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

本年度後期分の「しぶだより」も何とか予定通り発刊する事が出来ました。寄稿頂きました役員・会員の皆様、お忙しい中ご協力頂き誠に有難う御座いました。また、支部研修会の講師をして頂き、今回の冒頭の寄稿お願いを快諾頂きました白井先生、本当に有難う御座いました。「しぶだより」を見ていると総会時の年間の業務報告よりも事細かに支部の行事でどんな事が行われているのかが判るので、是非じっくり目を通して頂けたらと思います。（鈴木宏治）